

(様式第2号)

福祉サービス第三者評価結果報告書

事業者名 社会福祉法人 輪光福祉会

評価実施期間 平成23年4月20日～10月30日

1 評価機関

| | |
|-----------------------|----------------------|
| 名称 | 特定非営利活動法人 |
| 特別養護老人ホーム輪光無量寿園 | シルバーサービスネットワーク鹿児島 |
| 所在地 鹿児島県曾於市末吉町岩崎971-1 | 鹿児島市真砂町34番1号南光ビル303号 |

2 事業者情報

【平成23年8月25日現在】

| | |
|---|---|
| 事業所名称：特別養護老人ホーム (施設名) 輪光無量寿園 | サービス種別：特別養護老人ホーム |
| 開設年月日：1972年2月25日 | 管理者氏名 施設長 山内 義宣 |
| 設置主体：社会福祉法人輪光福祉会 | 代表者 職・氏名 理事長 山内 大宣 |
| 経営主体：社会福祉法人輪光福祉会 | 代表者 職・氏名 理事長 山内 大宣 |
| 所在地：〒899 - 8101 鹿児島県曾於市末吉町岩崎971-1 | |
| 連絡先電話番号：099 - 482-1047 | FAX番号：099 - 482 - 1337 |
| ホームページアドレス http://www10.ocn.ne.jp/~rinkou/ | E-mail rinkou@coral.ocn.ne.jp |

基本理念・運営方針

基本理念

- 1 利用者のプライバシーと人権を守り、「その人らしく」「自由で」「主体的な」生活を送れるようにトータルな援助を行います。
- 2 利用者の身体的・精神的な健康の保持と状態変化へ適切な対応を行います。
- 3 健全な人間関係が築けるような家庭的な雰囲気のある集団生活の場を創造します。
- 4 利用者・家族・職員の連携を強化し、ニーズの発見と処遇の改善に努めます。
- 5 社会資源としての自覚を持ち、地域福祉の拠点となるような施設づくりを目指します。

運営方針

- 1 利用者の処遇に関する計画により、可能な限り居宅生活への復帰を念頭に置き、入浴・排泄・食事等の介護・相談及び援助・機能訓練・健康管理等のサービスを提供することで利用者が自立的な生活を営むことが出来るように努めること。
- 2 利用者の意思及び人格を尊重し、常にその立場に立って処遇を行うこと。
- 3 明るく家庭的な雰囲気と地域や家族との結びつきを重視した運営及び市町村関連の保健・医療・福祉サービスとの密接な連携を図ること。

【利用者の状況】

| | |
|---------------------|----------|
| 定員 90名 短期入所定員 9名 | 利用者数 90名 |
|---------------------|----------|

【職員の状況】

平成 23 年 7 月 1 日現在

| 職 種 | 勤務区分 | | | | ※常勤換算 | ※基準職員数 | |
|----------------------------|-------|----|--------|----|-------|--------|----|
| | 常勤(人) | | 非常勤(人) | | | | |
| | 専従 | 兼務 | 専従 | 兼務 | | | |
| 施設長 | 1.0 | | | | 1.0 | | |
| 生活相談員 | 2.0 | | | | 2.0 | | |
| 介護職員 | 46.0 | | 2.4 | | 48.4 | 37.0 | |
| 看護職員 | 4.0 | | 0.8 | | 4.8 | 4.0 | |
| 介護支援専門員 | 2.0 | | 0.5 | | 2.5 | 1.0 | |
| 機能訓練士 | 2.0 | | 1.2 | | 3.2 | 1.0 | |
| 管理栄養士 | 1.0 | | | | 1.0 | 1.0 | |
| 栄養士 | | | 0.8 | | 0.8 | | |
| 調理職員 | 6.0 | | 1.5 | | 7.5 | | |
| その他 | 5.0 | | | | 5.0 | | |
| 前年度採用・退職の状況 | | | 採用 | 常勤 | 20人 | 非常勤 | 2人 |
| 22年4月～23年3月対象 | | | 退職 | 常勤 | 11人 | 非常勤 | 1人 |
| ○常勤職員の当該法人での平均勤務年数 | | | | | | 5.3年 | |
| ○直接処遇に当たる常勤職員の当該法人での平均勤務年数 | | | | | | 3.1年 | |
| ○常勤職員の平均年齢 | | | | | | 44.2歳 | |
| ○うち直接処遇に当たる職員の平均年齢 | | | | | | 41.5歳 | |

3 評価の総評

| |
|--|
| <p>◇特に評価の高い点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員参画のもとで策定された事業計画は、毎月の職員会議で各計画の反省を行い、半期毎に達成率を確認して課題を明らかにしている。 ・管理者は、月次決算報告や収支報告、施設運営状況指標や経費の前年対比等の分析を行うとともに、各部署、各委員会からの報告を毎月確認して現状の評価分析を行い、サービスの質改善のために指導力を発揮している。 ・安全管理面では、利用者に関わるあらゆるリスクを想定して、対応マニュアルの作成や訓練が実施されている。事業所内の対応だけでなく、夜間想定避難訓練では地域の協力者数十名にも参加してもらっている。 <p>◇改善を求められる点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理者は遵守すべき法令等を職員に周知し、研修実施などの具体的な取り組みを行っている。今後は、環境への配慮等も含む幅広い分野の関連法令等をリ |
|--|

スト化し、正しく認識して最新の内容を把握する取り組みに期待したい。
・職員や利用者から意見及び提案があった場合には、標準的なサービスの実施方法の見直しを検討しているが、定期的な検証、見直しの時期などは定められていない。定期的な検証と検討内容及びマニュアル改訂の記録が整備されることで、組織としての継続的な改善が行われることを期待したい。

4 第三者評価結果に対する事業者のコメント

今回、第三者評価を受けさせて頂き有り難うございました。
第三者評価を受ける前と受けた後の自分達の思いが変わった事は言うまでもありませんが、何かと問われたら当たり前である“気付き”ではなかったかと思えます。また、第三者評価の結果を拝見させて頂き、私共が思った以上の素晴らしい評価を頂きましたが、それで良いのかという疑いの視点にも変わりました。この結果を各事業所の主任等に伝え、今後どうあるべきであるという視点に変えて体制等の見直しのきっかけとなりました。まず、新しい委員会の構築を行い、今回の評価として重要視された『PDCAサイクル』と『5W2Hの活用』を再認識して頂く事をスタッフに伝え、全スタッフが理解しやすいように色々な企画書等にも提示して行う事で今後の施設運営に役立てていきたいと思えます。また、この結果を基にした今後の取り組みが当輪光無量寿園をご利用の皆様へ、どう反映されるかが課題となりますが上記でのべた事等を全スタッフが再認識し、満足頂けるサービスを提供していきます。

最後にこの第三者評価結果は、ホームページでの評価として全国の誰でも見て頂ける事になりますので、結果以上のサービスに取り組めるよう全スタッフが力を合わせて“一丸”となり、輪光福祉会の理念である“報恩・感謝”を忘れずに更なる質の向上に努めていきます。

今回の評価を実施して頂いた第三者評価機関の皆様へ改めて感謝を申し上げます。今後もこの結果に恥じぬよう取り組んでいきます事を宣言して、事業者のコメントに代えさせて頂きます。

5 評価結果(別紙)

6 利用者調査の結果(別紙)

7 事業者の自己評価結果(別紙)